



## 編集メモ

私ごとではあるが、2023年3月をもって東北医科薬科大学を退職となる。思い起こせば、当時の東北医科薬科大学の医学部設置構想が採択された2014年から医学部設置に向けての作業にかかわることとなり、医学部設置を申請した2015年の4月に就任して以来、今日まで8年間の長きにわたって病院長を務めてきた。2016年4月の医学部開設後は、それまで一介の中規模市中病院であった病院を大学病院として設備面、人員面、組織面、すべてを整え直すことが必要であり、日々勉強の毎日であったといえる。よくいえば新設医学部の立ち上げと成長に力を尽くすために多くの人材が集まってくれたのであるが、よくないいい方かもしれないが、いい方を変えれば雑多に集まった人材の集団に過ぎないといっても過言ではなく、これをとりまとめた東北医科薬科大学病院の第一歩からの歴史を紡いでいくことはかなりの難事業であったといえる。また、東北医科薬科大学に赴任する前に長きにわたって診療科長として東北大学病院に勤めていたにもかかわらず、振り返ってみると自分自身に大学病院というものについての理解が全く不足していたことも、その理由として挙げられる。ただ、これについては医学部立ち上げに集まってくれた医師ばかりではなく、事務方を含めすべてにあてはまることであったといえ、いわば雑多な素人集団が大学病院を一から立ち上げたといっても過言ではない。通常は病院長になったからといって特別学ぶべきことはそれほど多くはないのであろうが、今回の経験では病院内に大学病院での業務に精通した人物が皆無であるということもあって、以前の大学病院勤務時代を思い返しつつ、一つひとつの課題解決のため

に無い知恵を絞っての対応が必要であった。

大学病院としての体制を整えるとともに、それと並行して実践する医療についても、質・量ともに拡大していかなければならなかった。年々少しずつではあるが医師数が増加し診療の幅は急速に拡大していったが、体制整備が多くの場合手探り状態での進行であるために、診療の拡大と必ずしも協調がとれているとはいえない。本来ならばきちんと体制を整えた上で医療を拡大していくべきものであり、それが医療安全という観点でも重要なのであろうが、いわば新規参入の医学部と大学病院にはそのような時間的余裕がなかったといえる。こういった中で、しばしば細かな問題に直面したものの、今日まで重大な医療事故などを起こすことなくやってくることができたこと、これが最大の喜びである。とはいえ、大学病院としてはまだまだ道半ばにも至っていないレベルであり、この先も、遠く先にみえる歴史ある大学病院の背中を見失うことなくそこに追いつくべく力を尽くしていかなければならないことはいまでもない。このような状況に欠かせないものは有能な人材の力であるが、その意味でも、医学部設置6年を経過して昨年3月によりやく一期生が卒業したことは、この先自らの努力で多くの有能な人材を育成していくことが可能となるという意味で大きな希望となるものであり、この先の成長がよりやく約束されたものになったといえ、安心して職を退くことができる。

最後になるが、この節目にあたって長らく務めてきた本誌の編集主幹の仕事についても退くことにさせていただいた。思えば2005年に前任の藤村重文先生から編集主幹を引き継いで以来18年、われながらよく続けてこれたものと思う。この場をお借りして、編集の仕事で様々にお世話になった方々、そして論文をお寄せいただいた多くの方々に心よりお礼申し上げ、お別れのご挨拶とさせていただきます。

(近藤 丘)

|                                  |                            |       |      |       |             |  |  |  |  |  |
|----------------------------------|----------------------------|-------|------|-------|-------------|--|--|--|--|--|
| 編集顧問                             | 幕内晴朗                       |       |      |       |             |  |  |  |  |  |
| 編集主幹                             | 近藤丘                        | 小野稔   |      |       |             |  |  |  |  |  |
| 編集                               | 今中和人                       | 岩崎昭憲  | 碓氷章彦 | 奥村明之進 | 笠原真悟        |  |  |  |  |  |
|                                  | 亀井尚                        | 坂本喜三郎 | 澤芳樹  | 塩瀬明   | 志水秀行        |  |  |  |  |  |
|                                  | 鈴木弘行                       | 伊達洋至  | 松居喜郎 | 湊谷謙司  | 宮入剛         |  |  |  |  |  |
|                                  | 宮地鑑                        | 横見瀬裕保 | 横山 齊 |       |             |  |  |  |  |  |
| 定価 3,190 円<br>(本体 2,900 円+税 10%) | 胸部外科 第76巻 第4号 (4月号) [907冊] |       |      |       | 2023年4月1日発行 |  |  |  |  |  |
|                                  | 編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目42番6号    |       |      |       | 小立健太        |  |  |  |  |  |
|                                  | 印刷所 東京都千代田区飯田橋二丁目15番5号     |       |      |       | 日経印刷株式会社    |  |  |  |  |  |

発行所  
株式会社 南江堂 ☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目42番6号

TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 (編集)  
03-3811-7239 (営業)  
ホームページ <https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に關する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は、著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

広告申込所: ☎113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル 電話 03-3817-8036